



きらきら！今津っ子

令和5年 10月 19日
文責：校長 緒方 義弘
Tel 56-0006(今津小)

学びの深まり!!「研究授業」

10月4日(水)の5時間目、3年生教室で国語科の研究授業を行いました。「ちいちゃんのかげおくり」について、教科書に書いてある表現に着目し、場面の移り変わりを捉えながらお話の主題に迫る学習内容でした。

言葉や表現にこだわって考える姿、グループや全体で考えを出し合う姿など、とても意欲的に取り組むことができていました。昨年度から、本校で研究してきたことがよく伝わる子どもたちの学びの姿でした。



みんなで高みへ!!「生活委員会の取組」

10月5日(木)、業前活動で児童集会を行いました。生活委員会が、校内放送を使って「安全な学校生活」について発表を行いました。

そして、「揃える」をテーマに、生活委員が下の写真のようなポスターを作成して掲示しました。

みんなが意識を揃えて取り組み、みんなで成長していきたいものです。



平和のありがたさ!!「平和学習講話」

10月6日(金)、6年生が5支部の吉澤泰彦様を講師としてお迎えし、講話を聞きました。これは、修学旅行の事前学習のひとつで、吉澤様が戦争当時体験されたことなどのお話を聞き、平和の大切さについて考える時間でした。みんな真剣にお話を聞き、しっかりと平和のありがたさを心に刻むことができました。



学びを深めた!!「修学旅行」

10月12日(木)13日(金)、6年生が修学旅行で長崎へ行きました。

すばらしい好天に恵まれた2日間、現地での活動も予定どおり実施できました。原爆関連遺構を巡るフィールドワークでは、班別でボランティアガイドの方に説明していただきながら、詳しく学ぶことができました。原爆資料館では、展示物を食い入るように見つめ、心に刻むことができました。山川剛様の被爆者講話では、当時の時代背景からその日起こったことを詳しく話してくださり、その後、願いを話され、子どもたちは目・耳・心でしっかりと聴き入っていました。2日目の無窮洞見学でも、戦争当時の大変さに思いを馳せ、平和を願う気持ちを更に高める体験を通した学びになりました。長崎に行かなければ学ぶことができなかった学習、平和を願う気持ちをいつまでも持ち続けてくれることと期待します。

また、この2日間を通して、話の聞き方やあいさつ、集団行動などとても立派な生活態度で、たくさんの皆様からお褒めの言葉をいただきました。普段の生活が、このような機会に表れていることを強く実感しました。今後も、今津小のリーダーとして自信をもって行動してけることでしょう。



最高の思い出の修学旅行

■さん

まず、多くの皆さんの支えがあって、修学旅行に行くことができたことに、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

修学旅行では、平和についてのお話を被爆者の方から直接聞くことができ、戦争は絶対にしてはいけないし、原爆はこの世の中にあるのではないのだと改めて思いました。

また、ハウステンボスでは、みんなで楽しむことができ、僕にとって、最高の思い出となりました。

修学旅行での学び

■さん

僕は、修学旅行で頑張ったことがあります。それは「ルールを守ること」です。5分前行動や他の方に迷惑をかけないことを心がけました。そして、一人ではできないことも、みんなで協力して挑戦することができました。

これからは、自分自身が今まで以上に行動に責任を持って生活していきたいです。

また、一番心に残ったところは被爆者体験講話やフィールドワークです。今回学んだことを生かし、自分ができることから、平和につながる活動に取り組んでいきます。